

サーキュラーエコノミーへの移行促進に向けた静脈産業のDX推進について

施策を巡る状況

- ✓ 持続可能な資源利用の実現には、従来の3Rを超えた**サーキュラーエコノミー(CE)**への**移行が不可欠**。排出事業者側でも、リサイクルの高度化やCO₂削減、トレーサビリティなど新たなニーズが発生しており、**静脈産業の果たすべき役割が増大**
- ✓ これらのニーズへの対応や、社会システムとしての廃棄物処理システムの維持には、**静脈産業のDX推進が有効**。DXにより廃棄物処理の合理化・高度化を図り、CEを進めることが重要
- ✓ 都はこの間、静脈産業におけるICT技術等の活用に係る実証事業を実施。廃棄物処理・資源循環にDXサービスを提供する事業者は増えつつあり、この機を捉え**静脈産業と連携し業界全体のDXを推進するとともに、CEへの移行促進の仕組みを構築する必要**



取組の方向性

静脈産業のDX推進とCEへの移行促進に向け、新たに4つのActionからなる施策パッケージを展開

Action1 資源循環情報共有のためのシステム整備

- リサイクル可能品目や環境性能等、静脈産業各社の**資源循環に資する情報を集約化したデジタルツールを構築**
- 2024年度～ 基礎調査、基盤整備開始

- リサイクルやCO₂削減を進めたい排出事業者や、リサイクル素材を調達したい動脈産業と、静脈産業をつなぐ「**マッチングコーディネーター制度**」(仮称)を創設
- 2024年度～ 基礎調査、制度設計検討開始

Action3 マッチングコーディネーター制度の展開

Action2 都優良認定制度の充実

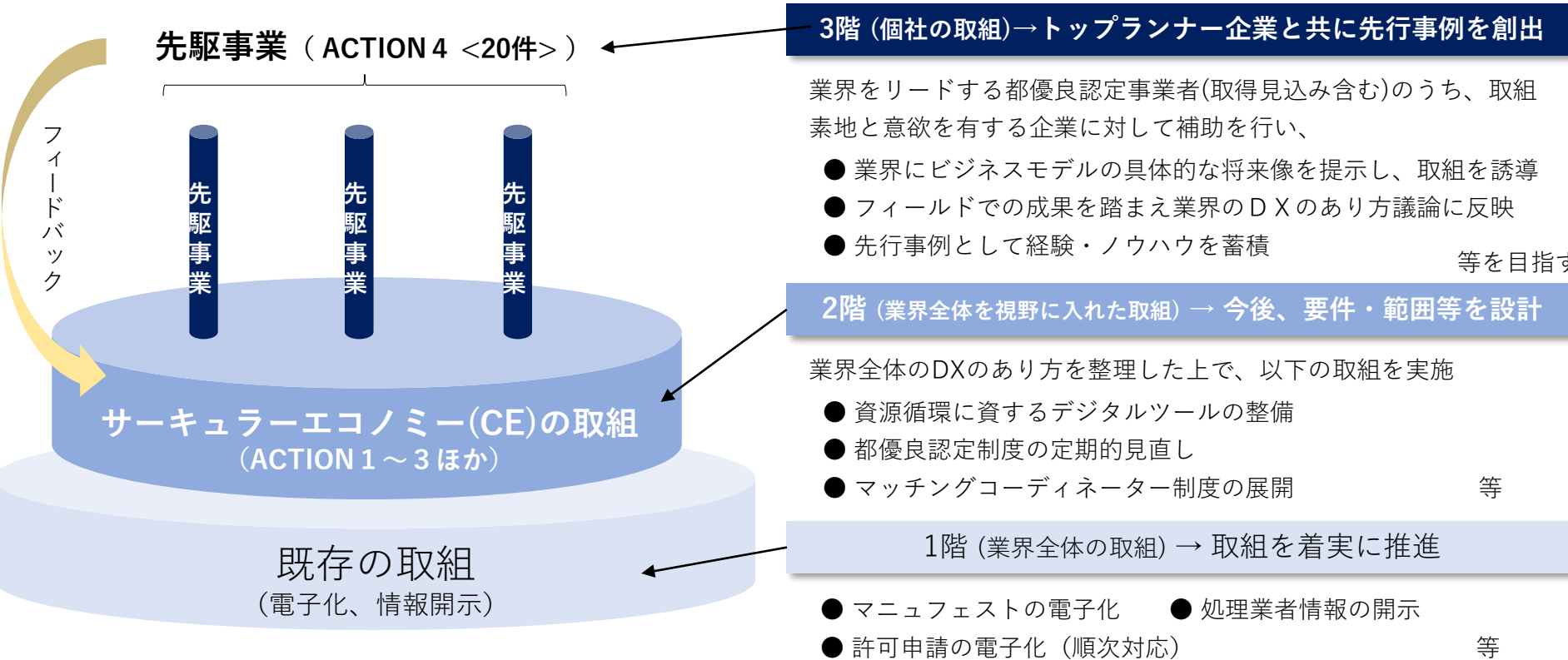
- 都優良認定制度に、新たに**3RやCO₂削減等を評価するための認定基準の追加等**、定期的見直しを実施
- 2024年度～ 基礎調査、制度設計検討開始

- 静脈産業事業者が行う**DXを活用したCEに貢献する新たな事業構築の取組を補助**し、先駆的事業者を育成
- 事業期間：2024年度～2026年度

Action4 資源循環・廃棄物処理のDX推進事業(補助)

今後の施策展開の全体見取り図 – 都が取り組む 4 つのAction –

4 つのActionと既存の取組をあわせた 3 階層で相互連携を図り、各施策を総合的に推進



2024年度予算

1

【新規】産業廃棄物処理業の循環経済移行促進事業 0.8億円
ACTION 1～3に係る調査検討委託等を実施

2

【新規】資源循環・廃棄物処理のDX推進事業 2.3億円
ACTION 4に係る新事業の創出補助